

やまがた木育プログラム体験会

庄内総合支庁主催

「地域ふれあい講座」

酒田市立浜中小学校



1月28日(火)、酒田市立浜中小学校にて、庄内総合支庁森づくり推進室の主催する「地域ふれあい講座」が、やまがた木育プログラム体験会として開催されました。今回は地元企業の加藤木工さんが講師を担当されました。また、スタッフとしてやまがた木育人材養成講座「スキルアップ」修了者の池田克彦さんにもお越しいただきました。

参加者である浜中小学校5年生の皆さんは、地元のクロマツ砂防林について勉強したことを学級新聞にまとめていて、講座が始まる前に関係者に見せていただきました。砂防林の歴史や役割、今の松枯れの原因など、きちんとまとめられてい



作成日
2025年2月28日
やまがた森林と緑の
推進機構 緑化推進課

ひとこと

今回参加された児童は地元のクロマツ砂防林のことをよく学習されていて、今回の自然・森林の学習にもとても意欲的でした。一方で、木工体験については純粋に楽しんでいて、それぞれ作ろうとしているこけしがどのようなものか、楽しそうに語り掛けてくれることに顔がほころびました。(担当Y)

て、講座のスタッフとして訪れた皆が感心していました。講話では、やまがた森林ノミクスの緑の循環システムの構図を用い、森林の持つ多面的機能について説明されていました。子どもたちは集中して話を聴き、森林の役割を学び、理解していたようです。木工体験については、加藤木工さんが自社の機械を用いて用意された、ネコとクマの2種類のこけしから一つを選び、各々が自由に着色しました。講師の加藤さんが趣味で作られた様々なキャラクターこけしを参考にしながら、児童たちは思い思いに着色し、木工体験を楽しんでいました。

【スタッフの振り返り・感想など】
・今回は「地域ふれあい講座」に参加し、県内でどのような木育が実践されているか、勉強となった。
・今回は地元企業として歴史ある加藤木工さんが講師を務められ、その活動と使われる機械技術の一端を教わり、木を加工する視点からも興味を持ってもらえるため山形の木育にとって参考になると感じた。



7名の児童に
参加いただきました！